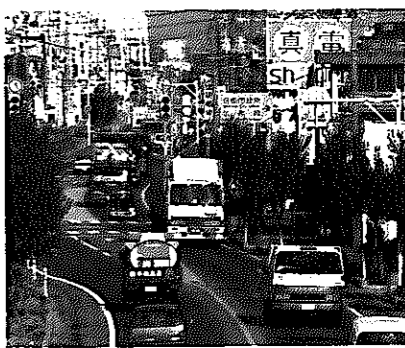


8号バイパス第6工区の地質調査を開始 結果分析し、道路構造を決定。 立体交差型を検討中

国道8号白根バイパスの第六工区(県道白根安田線北側Ⅱ下図参照)で地質調査(ボーリング調査)が始まりました。主にバイパスの構造を決めるためのもので、今年度は同工区で八カ所、すでに調査を実施している第七工区でも新たに二カ所を調べます。このほか表層物質のサンプル調査も、両工区合わせて二十一カ所で行われます。

8号バイパスでは当初、幹線道路との交差が平面交差型で計画されてきました。その後、交通量が激増してきたことなど、将来を考慮し、市としては建設省へ立体交差型を強く要望。これを受け建設省側でも、より効果的な道路構造を検討。地元地権者、関係役員らの協力を得て調査、研究が進められています。今回の調査は今月末まで行われ、その後細かく分析されて道路構造などを決定していきます。



水防倉庫が白井地区に完成 水害に備えて 資材などを備蓄

県内や市内に被害をもたらした今年の夏の大水害。あの局地的な豪雨はまだ記憶に新しいところですが、両岸を大きな河川に挟まれたこの白根の地では、水との闘いは宿命なのかもしれません。「いざ水害」というときには、さまざまな道具が必要で、スコップ、土のう袋、くい、スコップ、つるはし、一輪車など。これらを格納しておくのが水防倉庫です。

約二千九百万円をかけて新しい水防倉庫を建設しました。建設場所は白井地域生活センターの隣です。鉄骨一部二階建てで、延べ面積は二百二十五平方メートル。市内の水防倉庫はこのほか、庄瀬生活センターの隣に設置されています。

あの阪神淡路大震災や北信越地方を襲った集中豪雨による大水害と、今年はずいぶん災害の多い年です。「災害は忘れたころにやってくる」。古くから語られてきたこの言葉を、私たちは



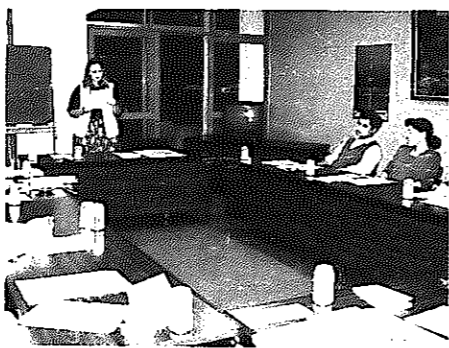
常に心しておかなければなりません。

市民海外派遣研修前のドイツ語講座 覚えて安心

市では、豊かな国際感覚を身に着けたまちづくりの担い手を育成しようと今年度から市民海外派遣研修を実施。九人の市民が七日間の日程でドイツ・オーストリアに派遣されます。派遣国がドイツ語圏であることから、十月三日、同研修に先立って市役所でドイツ語講座が開かれました。講師は、ドイツ人で元県国際交流員のソルベイク・ベルゲンさん。会場の壁には、

外国のエチケット

ベルゲンさんが持ってきたドイツの観光ポスターがいくつかは張られ、雰囲気盛り上げます。講座ではドイツに関する知識や常識をクイズ形式で学んだ後、簡単な日常会話などを学習。このほか、まちなみや外出時の注意事項などのアドバイスを受けました。ある参加者は「自分のテーマを見ることがもちろん、生活習慣の違いも見えてきたんですね」と意欲いっぱい。一行は、



十月二十二日にドイツ・オーストリアに向けて出発し、二十九日に帰国する予定です。

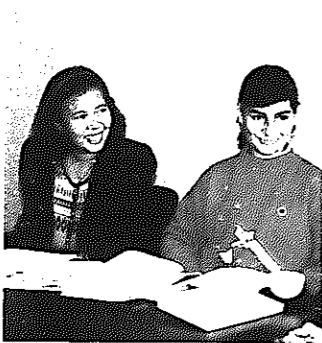
農村女性海外派遣・ホームステイ受け入れ研修 世界の農村女性、 国際的な見聞を広める

▼笠原礼子さん



農村での女性の役割が見直されている今日、白根市でも農村女性を海外へ派遣したり、外国の農村女性を受け入れたりと活発な活動が行われています。県の女性海外派遣研修に参加するのは笠原礼子さん(清水)。出発直前の十月十二日、市役所を訪れ、「海外の農村での女性の役割を、この目で確かめてみたい」と意欲を見せていました。翌十三日、中東蒲原農業改良センターの事業により、白根市にホームステイする海外の農村女性が市役所に到着。イダさん(インドネシア)、ペリヤナさん

▲海外農村女性の皆さん

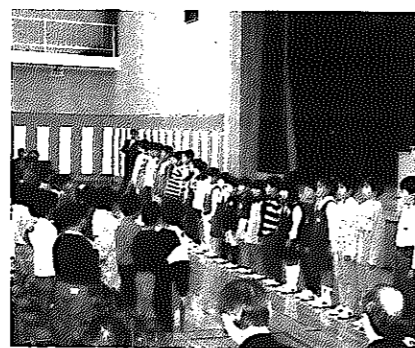


ん(マラウイ)、エディットさん(パラグアイ)の三人は市長を表敬訪問し、「皆さん、親切で、白根はとても気に入りました」とうれしそうに語りました。農村で働く女性たちの世界的な交流は、農業をより魅力的な産業にしてくれることでしょう。

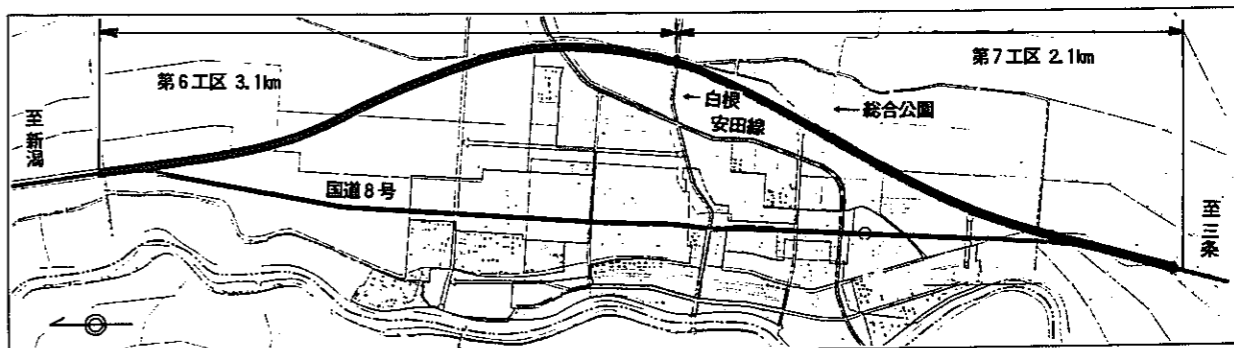
白井小学校完成・開校式 木の温もりと充実した施設 新しい学校に喜びの言葉

十月七日、白井小学校完成・開校式が、同小学校体育館で行われ、児童や父母、工事関係者などが出席して新しい学校の完成を祝いました。

同小学校は、旧戸石小学校と旧白井小学校が統合して今年四月に開校。総工費約二十一億四千八百万円をかけて建設されました。昨年十一月には校舎棟が、今年七月には屋内体育館と食堂が完成。そして九月にプールが完成したことから、完成・開校式の運びとなりました。新しい校舎は木を多く使い、温かみのある内装になっています。また、多目的スペースや多目的室など



ゆとりの空間があるほか、全員一緒に給食を食べることが出来るランチャームなどもあり、充実した施設で学校生活を送れるよう配慮されています。式では、一、六年生までの代表が前に出て「新しい教室で勉強ができて、とてもうれしかったです。みんなを力合わせて、新しい白井小学校をつくっていきまします」と児童全員で喜びの言葉を述べ、最後「この気持ちまでもいつまでもこの学校を大切にします」と力強く決意を述べました。



▶白根バイパス平面図